

**労働生産性の国際比較・2008 年版**  
**日本の生産性は先進 7 カ国中最下位、OECD30 カ国中第 20 位**  
**製造業は OECD26 カ国中 12 位に**  
**財団法人 社会経済生産性本部**

社会経済生産性本部(理事長: 谷口恒明)は 2008 年版「労働生産性の国際比較」をまとめた。OECD のデータによる OECD 加盟国間の比較とともに、世界銀行などのデータによる OECD 以外の国々の比較も行っている。特に OECD 加盟国の比較では、例年より新しい 2007 年データによる最新の国際比較を行った(OECD 産業別比較、同製造業比較、世界銀行による比較は 2006 年データ)。主な結果は以下の通りである。

**1. 日本の労働生産性(2007 年)は先進 7 カ国で最下位、OECD 加盟 30 カ国中第 20 位。**

2007 年の日本の労働生産性(就業者 1 人当たり名目付加価値)は、66,820 ドル(804 万円 / 購買力平価換算)で OECD 加盟 30 カ国中第 20 位、主要先進 7 カ国では最下位(図 1)、2006 年の 64,070 ドルより 2,751 ドル(4.2%) 向上し、順位は 2006 年の 21 位から 1 つ上がった。第 1 位はルクセンブルク(117,913 ドル / 1,419 万円)、第 2 位はノルウェー(104,501 ドル / 1,257 万円)。米国の労働生産性を 100 とすると日本は 71。対米国比率は 2000 年以降ほとんど変化が無い。

**2. 日本の製造業の労働生産性(2006 年)は OECD26 カ国中第 12 位。**

日本の製造業の労働生産性水準(2006 年)は 79,897 ドル(929 万円)で、OECD 加盟国でデータが得られた 26 カ国中第 12 位(図 2)。2005 年の第 8 位から 4 つ順位を下げた。主要先進 7 カ国で見ると米国、フランスに次ぐ第 3 位となっている。米国製造業の労働生産性を 1 とすると日本は 0.82 となる。

**3. サービス業の労働生産性は、日本を含め G7 各国も停滞続く。**

日本のサービス業の実質労働生産性指数は、1991 年から 2006 年間の 16 年間で年率平均 0.3% の伸びにとどまった(日本の製造業は同期間に年率平均 3.2% の伸び)。G7 各国のサービス業も同期間に年率平均 0.0 ~ マイナス 0.4% と各国とも停滞傾向が続いている(図 5・6)。

**4. 2001 年以降の日本の実質労働生産性上昇率は 1.80%(年率平均)で、主要先進 7 カ国中第 2 位。**

2001 年以降(2001 ~ 2007 年)の実質労働生産性上昇率は、日本は年率平均 1.80% で、主要先進 7 カ国中第 2 位、OECD 加盟 30 カ国中第 13 位(図 7)。1990 年代後半(1996 ~ 2000 年)が 0.70%(主要先進 7 カ国中最下位)であり、大幅な改善をみせている。2001 年以降の米国は 1.67% とやや減速したが、代わって英国が 2.02% で主要先進 7 カ国トップの上昇率となった(図 8)。

**5. BRICs の労働生産性はロシアの 51 位が最高。ブラジルが 65 位、中国は 85 位。**

世界銀行のデータで見ると、BRICs 各国では、ロシアの労働生産性が 27,144 ドルで 51 位が最高。ブラジルが 18,970 ドルで 65 位、中国は 7,974 ドルで 85 位(インドの労働生産性はデータ不備で計測できず)。従来データ不備で計測できなかったブルネイが初の 1 位になった(表 1)。2000 ~ 2006 年の実質労働生産性伸び率では中国が 8.71% で第 3 位に入り、ロシアは 5.24% で第 14 位、ブラジル(2001 ~ 2006 年)は - 0.02% と伸び悩んでいる(2006 年 / 世界銀行データによる購買力平価換算)(図 9)。

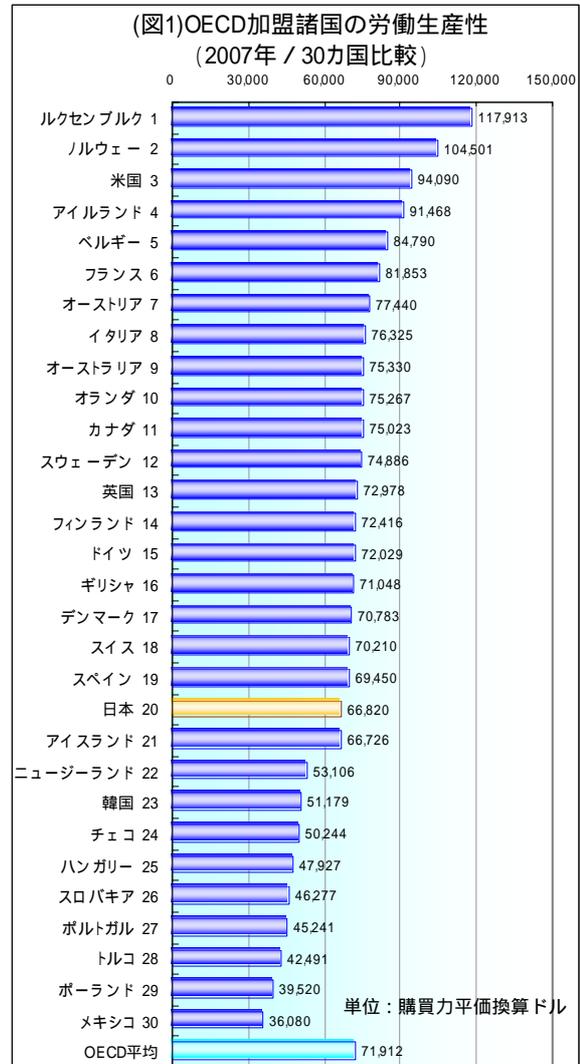
**【お問合せ先】 財団法人 社会経済生産性本部 総合企画部 生産性総合研究センター**  
担当：柿岡 明 TEL.03-3409-1137 FAX.03-3409-2810

(1) 2007年の日本の労働生産性(就業者1人当り付加価値)は、**66,820ドル**(804万円/購買力平価換算)で**OECD加盟30カ国中第20位**、**主要先進7カ国では最下位**。日本の労働生産性は2006年の64,070ドルより2,751ドル(4.2%)向上し、**順位は2006年の21位より1つ上がった**。第1位はルクセンブルク(117,913ドル/1,419万円)、第2位はノルウェー(104,501ドル/1,257万円)となった。(本文 p.10)

2007年の購買力平価で評価した日本のGDP労働生産性は**66,820ドル**(804万円)で、**OECD加盟30カ国中第20位**であった(図1)。第1位は、ルクセンブルクの117,913ドル(1,419万円)で1970年以降38年連続。第2位はノルウェー(104,501ドル・1,257万円)、第3位は米国(94,090ドル・1,132万円)である。国際的にみると日本の労働生産性はスペイン、アイスランドなどとほぼ同じ水準である。米国の労働生産性水準を100とすると日本は71程度で、この比率は2000年以降ほとんど変化が無い。

2007年の日本のGDP労働生産性は、就業者数が微増したことがマイナス要因になっているものの、付加価値の拡大を背景に、**2006年より2,751ドル(4.2%)向上している**。ただし、付加価値の伸びがやや鈍ったため、2005年から2006年の労働生産性上昇率5.0%を下回った。OECD加盟30カ国中の順位は2006年の21位より1つ上がり第20位となった。また、**主要先進7カ国の中では、1994年以降、14年連続で最下位**であった。

OECDでは、GDPを含む各種データの修正を随時行っている。修正は過去に遡及してなされることもあるため、本調査実施にあたり、最新データによる再計測を行っている。そのため、本年以前の計数や順位が昨年版と一致しない場合がある。3P以降の分析についても同様である。



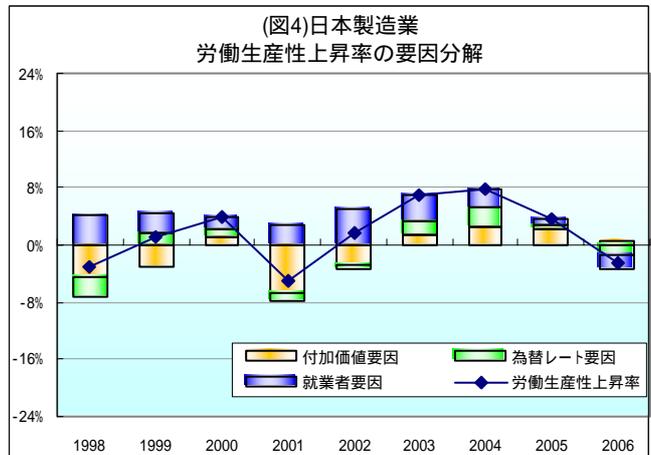
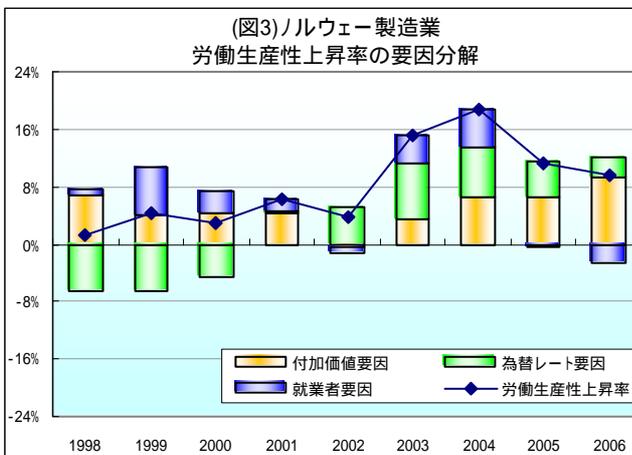
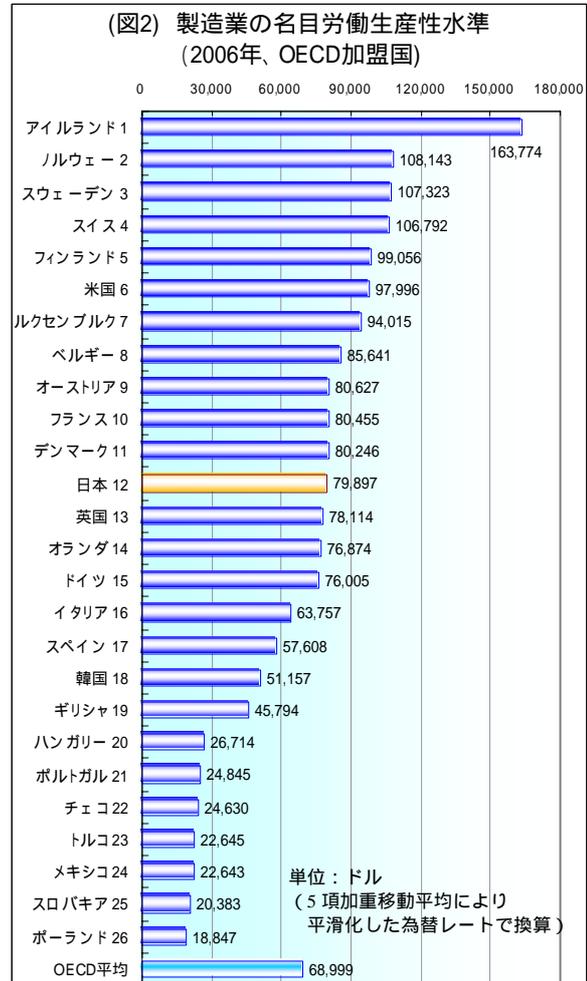
この調査は、OECDや世界銀行などのデータに基づいて世界各国の国民1人当り国内総生産(GDP per capita)、国民経済生産性(就業者1人当り国内総生産=GDP労働生産性)、主要先進7カ国の産業別・実質付加価値労働生産性、製造業の労働生産性水準などを比較したものである。本調査ではGDP労働生産性を測定するにあたり、国別の付加価値をドルベースに換算して比較しているが、その際の各国の通貨の評価には名目購買力平価を用いている。なお、購買力平価はOECDが1ドル=約120.31円(2007年)、世界銀行が1ドル=約124.48円(2006年)である。

購買力平価とは、各国の物価水準の差を調整して購買力が等しくなるよう、ある組み合わせの商品を一定量購入するのに必要な通貨の比率を表したものの。例えばマクドナルドのハンバーガーを例にとると、質量とも同じものが米国で1ドル、日本で100円で売られていれば、ハンバーガーの購買力平価は1ドル=100円となる。このような計測をGDPに対応すると考えられる商品群に適用して算出したものである。

(2) 日本の製造業の労働生産性水準(2006年)は79,897ドル(929万円)で、OECD加盟国でデータが得られた26カ国中第12位(図2)。2005年の第8位から4つ順位を下げた。主要先進7カ国でみると米国、フランスに次ぐ第3位となっている。米国製造業の労働生産性水準を1とすると日本は0.82となる。(本文p.33)

製造業の名目付加価値労働生産性を計測したところ、OECD加盟国の中でデータが得られた26カ国の中ではアイルランド(163,774ドル/1,905万円)が最も高かった。第2位はノルウェーの108,143ドル(1,258万円)、第3位はスウェーデンの107,323ドル(1,248万円)であった(図2)。日本は79,897ドル(929万円)で、第12位になっている。先進主要7カ国では米国、フランスに次いで第3位である(加重移動平均により平滑化した為替レートベース)。日本は2005年には第8位であったので、2006年は4つ順位を下げたことになる。現在の手法による製造業の比較は今回で5回目になるが、12位は過去最低の順位である。

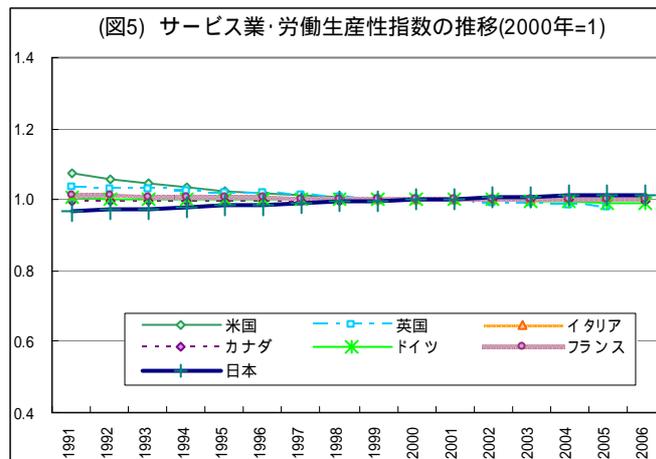
2006年は、アイルランド、フランス、ノルウェー、スウェーデンなどはユーロ高、クローネ高といった為替レートが製造業の名目付加価値額を増価させたことが大きな要因となり、上位にランクされた(図3)。日本は製造業の付加価値額が伸び悩んだことに加え、2005年から2006年にかけての円安傾向が名目付加価値額を減価させた(図4)。



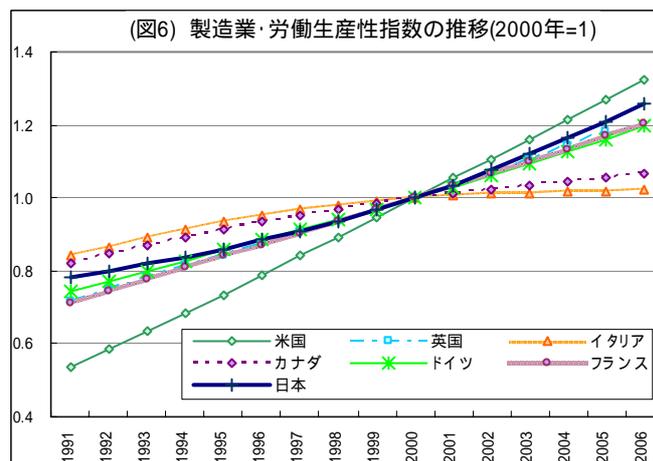
(3) 日本のサービス業の実質労働生産性指数は、1991年から2006年の16年間で年率平均0.3%の伸びにとどまった(日本の製造業は同期間に年率平均3.2%の伸び)。G7各国のサービス業も同期間に年率平均0.0～マイナス0.4%と各国とも停滞傾向が続いている。(本文p.22)

日本のサービス業の実質労働生産性指数の推移をみると、1991年から2006年までの16年間の伸び率は年率平均0.3%にとどまり、ほとんど生産性の向上がみられない。同期間に日本の製造業は、年率平均3.2%の伸びを記録しており、対照的な結果である。また、サービス業の実質労働生産性指数の推移は直線的で、労働生産性向上ペースは加速していない。一方、製造業は、年々労働生産性の向上ペースを速めている。

G7各国のサービス業をみると、いずれの国も16年間に実質労働生産性指数の変化はほとんどなく、米国(マイナス0.4%)、英国(同0.4%)、ドイツ(同0.1%)、フランス(同0.1%)は、わずかであるが労働生産性を低下させている。多少とも実質労働生産性指数が上向いているのは、日本(0.3%)、イタリア(0.02%)、カナダ(0.02%)である(図5)。今後は、各国とも製造業からサービス業へのシフトが進むと考えられるため、サービス業の生産性向上を果たした国の存在感が高まることが予想される。



また、G7各国の製造業をみると、米国の実質労働生産性指数が1991年から2006年の16年間を通じて年率平均6.2%の伸びと、最も高い上昇率を示した。英国、フランスはいずれも3.6%と、日本の3.2%をしのぐ伸びをみせている(図6)。



サービス業の内訳は下記の通り：

「行政・国防、強制社会保障」「教育」「保健衛生・社会事業」「その他の社会・個人サービス」「雇用者のいる個人世帯」「治外法権機関・団体」

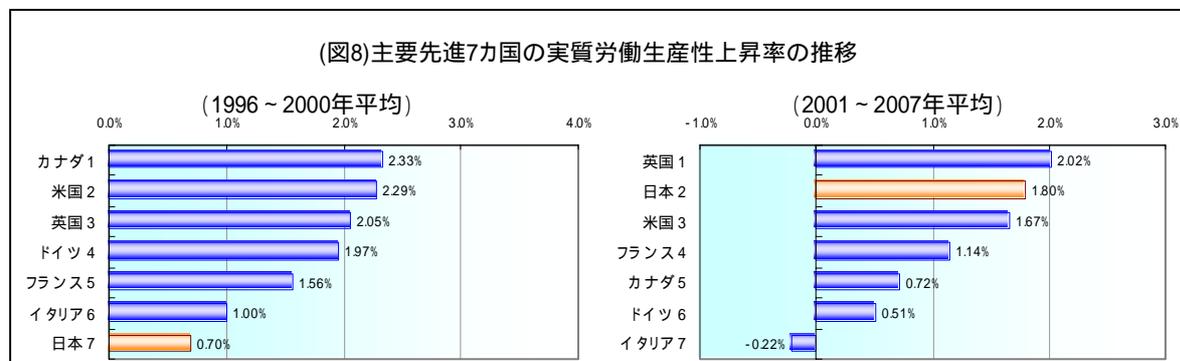
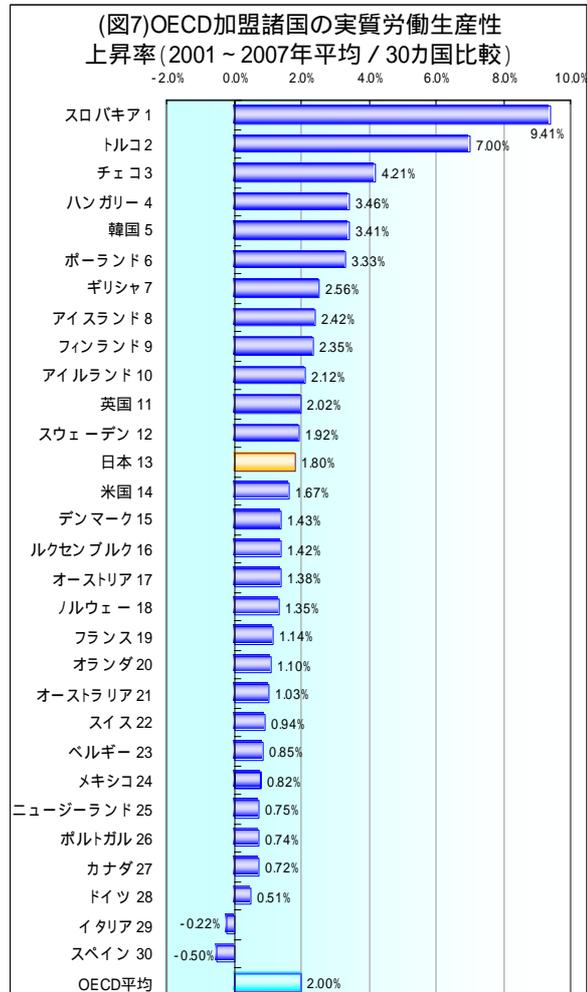
本分析では、まず各国の産業別実質労働生産性を計測し、その後、トレンド系列と循環系列の分離を行った。トレンド系列について2000年を1.000として指数化したものを実質労働生産性指数とした。

(4) 2001年以降(2001～2007年)の実質労働生産性上昇率は、日本は年率平均**1.80%**で、**主要先進7カ国中第2位**、OECD加盟30カ国中第13位。1990年代後半(1996～2000年)が0.70%(主要先進7カ国中最下位)であり、**大幅な改善をみせている**。2001年以降では英国は2.02%と主要先進7カ国で**トップの上昇率**となった。(本文p.13)

OECD加盟国の実質労働生産性上昇率(2001～2007年平均)は、日本は30カ国中第13位、主要先進7カ国では英国に次ぐ第2位だった(図7・8)。2001年以降の日本の実質労働生産性上昇率は1.80%(年率平均)で、その前5年間(1996～2000年)の0.70%を大きく上回っている。同時期の日本の上昇率が主要先進7カ国中最下位であったことと比較すると、大幅にポジションを上げたことになる。1980年代後半には及ばないものの、1990年代の不振とは異なるパフォーマンスをみせるようになってきている。

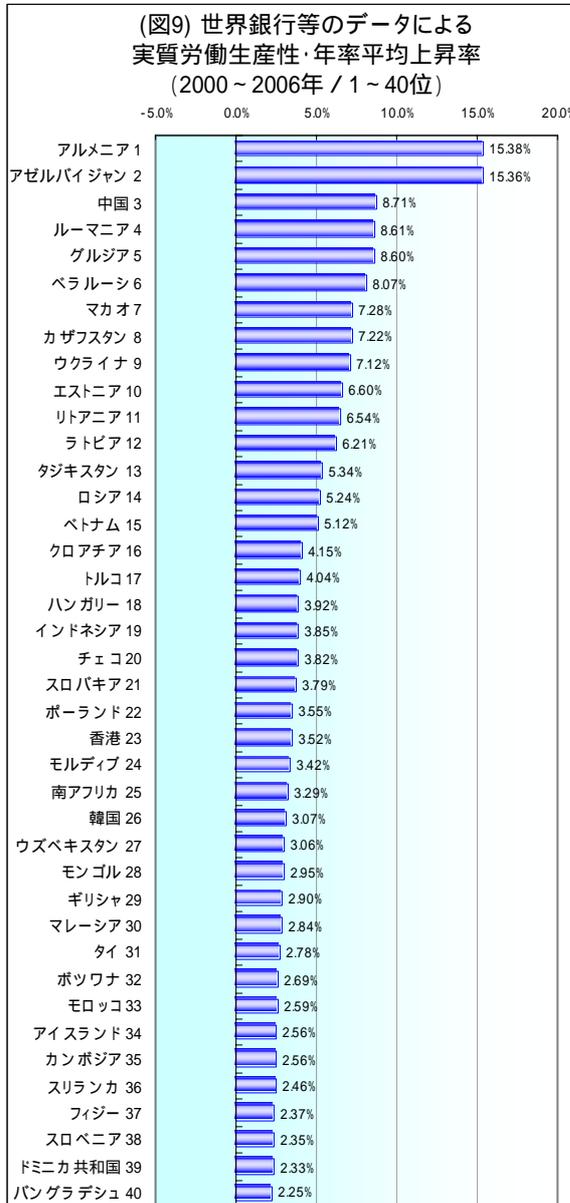
米国の上昇率はやや減速したが、代わって英国が年率平均2.02%と、G7トップの高い上昇率を示している。

なお、OECD加盟国の中で2001年以降の労働生産性平均上昇率が最も高かったのはスロバキア(9.41%)で、トルコ(7.00%)が第2位、チェコ(4.21%)が第3位となった。東欧各国など、比較的労働生産性水準の低い国が上位となっている。



(5) BRICs諸国ではロシアの51位(27,144ドル)が最高。ブラジルは18,970ドルで65位、中国は7,974ドルで85位(インドの労働生産性はデータ不備で計測できなかった)。ブルネイが初めて1位になるなど、非OECD加盟国が上位に顔を出している。2000～2006年の実質労働生産性伸び率では中国が8.71%で第3位に入り、ロシアは5.24%で第14位となった。(本文p.26)

世界銀行等のデータから作成したランキングをみると、BRICs諸国では、ロシアの労働生産性が27,144ドルで51位に入ったのが最高位である。ブラジルは18,970ドルで65位、中国は7,974ドルで85位となった。インドは就業者数データが得られなかったため計測できなかった。従来データ不備で計測できなかったブルネイが110,101ドルで初



(表1)世界銀行等のデータによる世界各国の労働生産性(80位まで)

順位	国名	労働生産性	順位	国名	労働生産性
1	ブルネイ	110,101	41	リトアニア	35,638
2	ルクセンブルク	109,277	42	南アフリカ	33,645
3	ノルウェー	98,801	43	チリ	33,397
4	米国	91,145	44	ラトビア	32,284
5	アイルランド	85,034	45	フィジー	32,258
6	ベルギー	82,283	46	マレーシア	31,859
7	シンガポール	80,001	47	ホスニア・ヘルツェゴヴィナ	31,411
8	マカオ	79,166	48	メキシコ	30,326
9	ギリシャ	78,558	49	マケドニア	28,025
10	香港	78,548	50	アルゼンチン	27,833
11	フランス	78,050	51	ロシア	27,144
12	オーストリア	75,993	52	トルコ	26,906
13	イタリア	74,367	53	セルビア	26,676
14	カナダ	72,448	54	ベネズエラ	26,625
15	オランダ	71,983	55	モーリシャス	26,547
16	オーストラリア	71,857	56	ブルガリア	25,413
17	スウェーデン	71,557	57	パナマ	25,131
18	ドイツ	71,479	58	ルーマニア	24,183
19	英国	70,698	59	ウルグアイ	23,925
20	フィンランド	70,520	60	エクアドル	23,398
21	デンマーク	69,624	61	コスタリカ	22,991
22	サウジアラビア	66,704	62	ベラルーシ	21,518
23	イスラエル	65,996	63	パレスチナ	20,419
24	アイスランド	65,708	64	カザフスタン	20,339
25	スイス	64,744	65	ブラジル	18,970
26	スペイン	64,003	66	エジプト	17,969
27	日本	63,952	67	ジャマイカ	17,869
28	マルタ	57,832	68	サモア	17,608
29	キプロス	55,868	69	コロンビア	16,501
30	スロベニア	50,440	70	ドミニカ共和国	16,253
31	ニュージーランド	50,226	71	エルサルバドル	15,315
32	韓国	48,078	72	ウクライナ	14,021
33	チェコ	47,049	73	モルディブ	13,644
34	ハンガリー	46,822	74	タイ	13,509
35	ポルトガル	42,656	75	アルメニア	13,441
36	ボツワナ	42,365	76	アゼルバイジャン	13,410
37	スロバキア	41,528	77	グアテマラ	12,508
38	エストニア	39,396	78	モロッコ	11,686
39	ポーランド	38,620	79	スリランカ	10,486
40	クオアチア	36,697	80	グルジア	10,173

単位は購買力平価換算USドル(世界銀行換算レート)

めて1位になるなど、非OECD加盟国が上位に顔を出している(表1)。日本は例年の20位前後から27位に順位を落としたが、主として非OECD加盟国のデータ整備状況の変化が原因である。

2000～2006年の実質労働生産性上昇率は、第1位がアルメニアの15.38%(年率平均。以下同じ)。中国が8.71%で第3位に入った。また、ロシアは5.24%で第14位となった(図9)。

(付表 1) OECD 加盟国の労働生産性(2004～2007年)・実質労働生産性上昇率

	2004年		2005年		2006年		2007年	
1	ルクセンブルク	100.058	ルクセンブルク	106.667	ルクセンブルク	115.803	ルクセンブルク	117.913
2	ルルウェー	85.365	ルルウェー	96.155	ルルウェー	102.989	ルルウェー	104.501
3	米国	82.639	米国	87.237	米国	90.818	米国	94.090
4	アイルランド	80.830	アイルランド	82.086	アイルランド	86.952	アイルランド	91.468
5	ベルギー	77.458	ベルギー	78.753	ベルギー	82.678	ベルギー	84.790
6	フランス	71.574	フランス	75.253	フランス	78.818	フランス	81.853
7	イタリア	71.263	オーストリア	73.164	オーストリア	75.080	オーストリア	77.440
8	オーストリア	71.203	イタリア	72.352	イタリア	74.144	イタリア	76.325
9	ドイツ	68.898	オランダ	70.144	スウェーデン	72.952	オーストラリア	75.330
10	スウェーデン	68.531	カナダ	69.691	カナダ	72.798	オランダ	75.267
11	オーストラリア	67.563	スウェーデン	69.421	オランダ	72.717	カナダ	75.023
12	英国	66.945	オーストラリア	69.419	オーストラリア	72.336	スウェーデン	74.886
13	オランダ	66.481	ドイツ	68.921	ドイツ	70.628	英国	72.978
14	カナダ	65.608	英国	67.453	英国	70.578	フィンランド	72.416
15	フィンランド	65.544	デンマーク	66.410	フィンランド	69.902	ドイツ	72.029
16	デンマーク	64.229	フィンランド	66.082	デンマーク	68.134	ギリシャ	71.048
17	アイスランド	63.188	アイスランド	65.552	ギリシャ	67.932	デンマーク	70.783
18	スイス	61.813	ギリシャ	64.233	スイス	66.408	スイス	70.210
19	ギリシャ	61.789	スイス	63.315	スペイン	65.652	スペイン	69.450
20	スペイン	61.721	スペイン	62.395	アイスランド	65.610	日本	66.820
21	日本	58.616	日本	60.932	日本	64.070	アイスランド	66.726
22	ニュージーランド	48.728	ニュージーランド	49.091	ニュージーランド	51.085	ニュージーランド	53.106
23	韓国	43.507	韓国	44.950	韓国	48.071	韓国	51.179
24	ハンガリー	42.072	ハンガリー	43.880	ハンガリー	46.581	チェコ	50.244
25	チェコ	41.906	チェコ	43.513	チェコ	46.570	ハンガリー	47.927
26	ポルトガル	39.342	ポルトガル	41.152	ポルトガル	42.826	スロバキア	46.277
27	スロバキア	36.125	スロバキア	38.566	スロバキア	41.191	ポルトガル	45.241
28	ポーランド	35.901	ポーランド	36.545	ポーランド	38.193	トルコ	42.491
29	トルコ	30.923	トルコ	33.147	トルコ	36.872	ポーランド	39.520
30	メキシコ	29.889	メキシコ	31.907	メキシコ	34.128	メキシコ	36.080
	OECD平均	63.494	OECD平均	66.047	OECD平均	69.039	OECD平均	71.912

	1986~1990年平均		1991~1995年平均		1996~2000年平均		2001~2007年平均	
1	韓国	5.27%	ポーランド	5.30%	ポーランド	6.04%	スロバキア	9.41%
2	アイルランド	4.77%	韓国	5.02%	アイルランド	3.84%	トルコ	7.00%
3	日本	3.55%	フィンランド	3.77%	韓国	3.36%	チェコ	4.21%
4	ルクセンブルク	3.40%	スウェーデン	3.63%	ハンガリー	3.25%	ハンガリー	3.46%
5	トルコ	3.14%	イタリア	3.28%	トルコ	2.96%	韓国	3.41%
6	フィンランド	2.82%	デンマーク	3.03%	フィンランド	2.76%	ポーランド	3.33%
7	ポルトガル	2.61%	ルルウェー	3.01%	オーストリア	2.70%	ギリシャ	2.56%
8	イタリア	2.58%	英国	2.95%	ルクセンブルク	2.67%	アイスランド	2.42%
9	フランス	2.51%	アイルランド	2.64%	スウェーデン	2.57%	フィンランド	2.35%
10	オーストリア	2.28%	スペイン	2.44%	メキシコ	2.53%	アイルランド	2.12%
11	ベルギー	2.13%	オーストラリア	2.33%	アイスランド	2.42%	英国	2.02%
12	アイスランド	2.11%	ドイツ	2.31%	カナダ	2.33%	スウェーデン	1.92%
13	ルルウェー	1.82%	ポルトガル	2.29%	米国	2.29%	日本	1.80%
14	ニュージーランド	1.46%	トルコ	2.15%	ギリシャ	2.24%	米国	1.67%
15	ドイツ	1.36%	ベルギー	1.92%	チェコ	2.12%	デンマーク	1.43%
16	スウェーデン	1.22%	カナダ	1.86%	英国	2.05%	ルクセンブルク	1.42%
17	米国	1.21%	米国	1.76%	オーストラリア	1.99%	オーストリア	1.38%
18	スペイン	1.19%	ニュージーランド	1.44%	ドイツ	1.97%	ルルウェー	1.35%
19	カナダ	0.77%	フランス	1.40%	デンマーク	1.95%	フランス	1.14%
20	英国	0.75%	スイス	1.13%	ルルウェー	1.72%	オランダ	1.10%
21	ギリシャ	0.61%	オランダ	0.87%	ニュージーランド	1.66%	オーストラリア	1.03%
22	スイス	0.47%	日本	0.72%	スイス	1.57%	スイス	0.94%
23	デンマーク	0.45%	ルクセンブルク	0.35%	フランス	1.56%	ベルギー	0.85%
24	オーストラリア	0.02%	オーストリア	-0.24%	オランダ	1.20%	メキシコ	0.82%
25	オランダ	-1.27%	ギリシャ	-0.48%	イタリア	1.00%	ニュージーランド	0.75%
26			アイスランド	-0.53%	ポルトガル	0.96%	ポルトガル	0.74%
27			メキシコ	-1.52%	日本	0.70%	カナダ	0.72%
28					ベルギー	0.66%	ドイツ	0.51%
29					スペイン	-0.06%	イタリア	-0.22%
30							スペイン	-0.50%
	OECD平均	1.89%	OECD平均	1.96%	OECD平均	2.17%	OECD平均	2.00%

1) 単位：購買力平価換算USドル

2) 資料：OECD National Accounts of OECD Countries Vol.1 2008 Edition.OECD Labor Force Statistics 2007 Edition.

3) 実質労働生産性上昇率：2000年基準実質購買力平価ベース年率平均値

(付表 2) OECD 加盟国・製造業の名目労働生産性(2003～2006年)

	2003年		2004年		2005年		2006年	
1	アイルランド	131,486	アイルランド	141,745	アイルランド	153,383	アイルランド	163,774
2	米国	83,309	スイス	92,560	スイス	99,913	ノルウェー	108,143
3	スイス	83,182	米国	89,758	ノルウェー	98,404	スウェーデン	107,323
4	ルクセンブルク	77,581	ノルウェー	87,859	スウェーデン	97,245	スイス	106,792
5	スウェーデン	75,226	ルクセンブルク	87,094	米国	94,822	フィンランド	99,056
6	フィンランド	74,432	スウェーデン	86,099	ルクセンブルク	94,190	米国	97,996
7	日本	73,201	フィンランド	84,161	フィンランド	89,770	ルクセンブルク	94,015
8	ノルウェー	72,941	日本	79,133	日本	81,961	ベルギー	85,641
9	ベルギー	64,253	ベルギー	73,124	ベルギー	78,675	オーストリア	80,627
10	フランス	62,149	オランダ	70,312	フランス	76,716	フランス	80,455
11	オランダ	61,675	フランス	70,239	オーストリア	76,249	デンマーク	80,246
12	デンマーク	59,581	オーストリア	68,566	オランダ	74,535	日本	79,897
13	カナダ	58,015	英国	67,967	英国	72,274	英国	78,114
14	オーストリア	57,955	デンマーク	65,912	ドイツ	71,296	オランダ	76,874
15	英国	57,739	ドイツ	64,488	デンマーク	70,096	ドイツ	76,005
16	ドイツ	56,960	カナダ	64,426	オーストラリア	69,296	イタリア	63,757
17	アイスランド	55,690	アイスランド	63,390	イタリア	61,091	スペイン	57,608
18	オーストラリア	55,624	オーストラリア	61,673	アイスランド	60,496	韓国	51,157
19	イタリア	49,723	イタリア	57,130	スペイン	52,558	ギリシャ	45,794
20	スペイン	42,200	スペイン	47,729	韓国	46,320	ハンガリー	26,714
21	韓国	33,890	韓国	41,351	ギリシャ	40,690	ポルトガル	24,845
22	ギリシャ	28,845	ギリシャ	35,528	ポルトガル	24,280	チェコ	24,630
23	ポルトガル	20,352	ポルトガル	22,315	ハンガリー	23,624	トルコ	22,645
24	メキシコ	19,518	メキシコ	20,551	チェコ	22,561	メキシコ	22,643
25	ハンガリー	16,677	ハンガリー	20,415	メキシコ	20,439	スロバキア	20,383
26	トルコ	15,308	チェコ	20,224	トルコ	19,692	ポーランド	18,847
27	チェコ	15,246	トルコ	17,838	スロバキア	17,374		
28	ポーランド	13,234	ポーランド	15,888	ポーランド	17,060		
29	スロバキア	11,747	スロバキア	14,666				
30								
	OECD平均	52,681	OECD平均	59,729	OECD平均	64,465	OECD平均	68,999

1) 単位：USドル(加重移動平均により平滑化した為替レートを用いて換算)

2) 資料：OECD National Accounts of OECD Countries Vol.2 2008 Edition.OECD Labor Force Statistics 2007 Edition.  
Eurostat National Accounts by 31 branches

(付表 3) 世界銀行等のデータによる実質労働生産性上昇率(2000～2006年)

2000-2006年							
順	国名	グループ	労働生産性	順	国名	グループ	労働生産性
1	アルメニア	欧州中央ア	15.38%	51	フィリピン	東ア太平洋	1.49%
2	アゼルバイジャン	欧州中央ア	15.36%	52	エジプト	中東北アフ	1.26%
3	中国	東ア太平洋	8.71%	53	デンマーク	OECD高所得	1.25%
4	ルーマニア	欧州中央ア	8.61%	54	パキスタン	南アジア	1.21%
5	グルジア	欧州中央ア	8.60%	55	ベルギー	OECD高所得	1.20%
6	ベラルーシ	欧州中央ア	8.07%	56	チリ	ラテンカリブ	1.19%
7	マカオ	他高所得	7.28%	57	オーストリア	OECD高所得	1.07%
8	カザフスタン	欧州中央ア	7.22%	58	マケドニア	欧州中央ア	1.06%
9	ウクライナ	欧州中央ア	7.12%	59	オーストラリア	OECD高所得	1.03%
10	エストニア	欧州中央ア	6.60%	60	フランス	OECD高所得	0.97%
11	リトアニア	欧州中央ア	6.54%	61	カナダ	OECD高所得	0.73%
12	ラトビア	欧州中央ア	6.21%	62	キルギス	欧州中央ア	0.70%
13	タジキスタン	欧州中央ア	5.34%	63	ドイツ	OECD高所得	0.64%
14	ロシア	欧州中央ア	5.24%	64	オランダ	OECD高所得	0.61%
15	ベトナム	東ア太平洋	5.12%	65	サウジアラビア	中東北アフ	0.57%
16	クロアチア	欧州中央ア	4.15%	66	パナマ	ラテンカリブ	0.56%
17	トルコ	欧州中央ア	4.04%	67	ニュージーランド	OECD高所得	0.53%
18	ハンガリー	欧州中央ア	3.92%	68	スイス	OECD高所得	0.53%
19	インドネシア	東ア太平洋	3.85%	69	ポルトガル	OECD高所得	0.47%
20	チェコ	欧州中央ア	3.82%	70	メキシコ	ラテンカリブ	0.47%
21	スロバキア	欧州中央ア	3.79%	71	マルタ	中東北アフ	0.42%
22	ポーランド	欧州中央ア	3.55%	72	ルクセンブルク	OECD高所得	0.32%
23	香港	他高所得	3.52%	73	イスラエル	他高所得	-0.01%
24	モルディブ	南アジア	3.42%	74	グアテマラ	ラテンカリブ	-0.16%
25	南アフリカ	サハラ以南	3.29%	75	キプロス	他高所得	-0.25%
26	韓国	OECD高所得	3.07%	76	ベネズエラ	ラテンカリブ	-0.27%
27	ウズベキスタン	欧州中央ア	3.06%	77	アルゼンチン	ラテンカリブ	-0.28%
28	モンゴル	東ア太平洋	2.95%	78	イタリア	OECD高所得	-0.45%
29	ギリシャ	OECD高所得	2.90%	79	スペイン	OECD高所得	-0.66%
30	マレーシア	東ア太平洋	2.84%	80	コスタリカ	ラテンカリブ	-0.81%
31	タイ	東ア太平洋	2.78%	81	ブルネイ	他高所得	-0.83%
32	ボツワナ	サハラ以南	2.69%	82	ジャマイカ	ラテンカリブ	-1.31%
33	モロッコ	中東北アフ	2.59%	83	ウルグアイ	ラテンカリブ	-2.74%
34	アイスランド	OECD高所得	2.56%	84	パレスチナ	中東北アフ	-2.97%
35	カンボジア	東ア太平洋	2.56%				
36	スリランカ	南アジア	2.46%				
37	フィジー	東ア太平洋	2.37%				
38	スロベニア	他高所得	2.35%				
39	ドミニカ共和国	ラテンカリブ	2.33%				
40	バングラデシュ	南アジア	2.25%				
41	フィンランド	OECD高所得	2.24%				
42	エクアドル	ラテンカリブ	2.10%				
43	アイルランド	OECD高所得	1.99%				
44	スウェーデン	OECD高所得	1.93%				
45	パラグアイ	ラテンカリブ	1.89%				
46	英国	OECD高所得	1.79%				
47	米国	OECD高所得	1.75%				
48	ノルウェー	OECD高所得	1.64%				
49	日本	OECD高所得	1.62%				
50	シンガポール	他高所得	1.55%				

1) 単位：2000年基準実質購買力平価ベース・年率平均上昇率(%)

2) 資料：世界銀行 World Development Indicators 2008 Edition, OECD Labor Force Statistics 2007 Edition, OECD LFS Database, ADB Key Indicators 2008, ILO LABORSTA Database, その他

グループ：世界銀行が所得・地域的特性に基づいて分類した区分を使用。